

夏チャレンジ

(3年生までの学習内容)

()年()組

目標時間15分

名前()

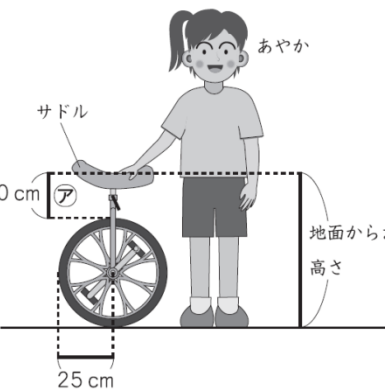
実際にかかった時間()分

1 次の計算をしなさい。

- ① 132+459
- ② 243-65
- ③ 903×6
- ④ 9-0.8

①	591
②	178
③	5418
④	8.2

2 あやかさんは、一輪車の高さを調節しています。一輪車のちょうどよい高さは、地面からおへそのところまでと言われています。



サドルの高さを調節すると、下の図のアの長さが20cmになりました。一輪車のタイヤの半径は25cmです。地面からあやかさんのおへそまでの高さを求める式と答えを書きましょう。

式	答え
(例) $25 \times 2 + 20$	70 cm

3 乗り物に乗る計画を立てたところ、乗り物券が15枚必要になることがわかりました。

乗り物券と乗り放題券(フリーパス)の料金は、下の表のとおりです。料金表

乗り物券		乗り放題券
1枚券 100円	11枚つづり 1000円	1500円

次の1から3までの券の買い方のうち、乗り物券15枚分の料金がいちばん安くなるのはどれですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号の買い方がいちばん安くなるわけを、言葉と数を使って書きましょう。

- 1 1枚券を15枚買う。
- 2 11枚つづりの乗り物券を1つと、1枚券を4枚買う。
- 3 乗り放題券を買う。

番号	わけ
2	(例) 1枚券を15枚買うと、 $100 \times 15 = 1500$ で、料金は1500円です。 11枚つづりの乗り物券を1つと、1枚券を4枚買うと、 $1000 + 100 \times 4 = 1400$ で、料金は1400円です。 乗り放題券を買うと、料金は1500円です。 1500円と1400円を比べると、1400円のほうが安いので、11枚つづりの乗り物券を1つと、1枚券を4枚買う買い方がいちばん安くなります。

夏チャレンジ

(4年生までの学習内容)

()年()組
目標時間15分

名前()
実際にかかった時間()分

1 次の計算をしなさい。

- ① $148 \div 37$
- ② $4.6 - 0.21$
- ③ $6 \times 2 + 8 \times 3$
- ④ $16 - (6 + 3)$
- ⑤ $6 \div 5$
- ⑥ $100 - 20 \times 4$
- ⑦ $2\frac{5}{7} + 1\frac{1}{7}$

①	4
②	4.39
③	36
④	7
⑤	1.2
⑥	20
⑦	$3\frac{6}{7}$

2 ししゃごにゆう
四捨五入して一万の位までのがい数にしたとき、20000になる整数を、下の1から5までのの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1 14500
- 2 15000
- 3 19500
- 4 24999
- 5 25000

2	3	4
---	---	---

3 次の問題の答えを求めるための式と答えを書きましょう。

- ① 1個100円のガムを1個と、1個20円のアメを4個買いました。代金はいくらですか。

式	答え
(例) $100 \times 1 + 20 \times 4$	180 円

- ② 100円玉を1枚持って買い物に行きました。1個20円のアメを4個買いました。おつりはいくらですか。

式	答え
(例) $100 \times 1 - 20 \times 4$	20 円

- ③ 1本100円のペンと1本20円のえんぴつを、4本ずつ買いました。代金はいくらですか。

式	答え
(例) $100 \times 4 + 20 \times 4$	480 円

- ④ 1本100円のペンが20円引きで売られています。そのペンを4本買いました。代金はいくらですか。

式	答え
(例) $(100 - 20) \times 4$	320 円

夏チャレンジ

(5年生までの学習内容)

()年()組

目標時間15分

名前()

実際にかかった時間()分

1 次の計算をなさい。

① 90×0.7

② $\frac{3}{7} - \frac{2}{5}$

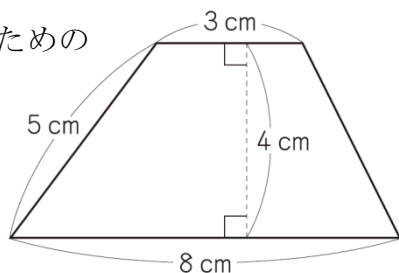
③ $\frac{4}{5} \div 8$

④ $\frac{2}{9} \times 4$

⑤ $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$

①	63
②	$\frac{1}{35}$
③	$\frac{1}{10}$
④	$\frac{8}{9}$
⑤	$\frac{11}{15}$

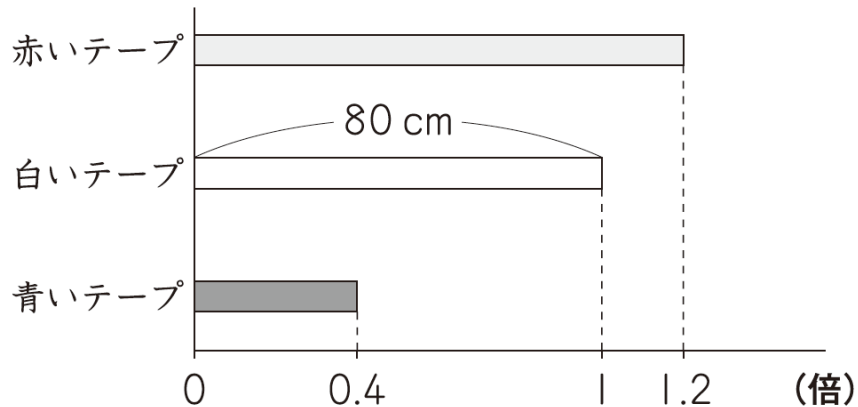
2 右の台形の面積を求めるための式と答えを書きましょう。



式
(例) $(3+8) \times 4 \div 2$

答え
22
cm²

3 下の図のように、白いテープの長さをもとにして、赤いテープと青いテープの長さを表しました。



① 赤いテープの長さを求めるための式と答えを書きましょう。

式

(例)

80×1.2

答え

96

cm

② 青いテープの長さを求めるための式と答えを書きましょう。

式

(例)

80×0.4

答え

32

cm

夏チャレンジ

(5年生までの学習内容)

()年()組

名前()

目標時間15分

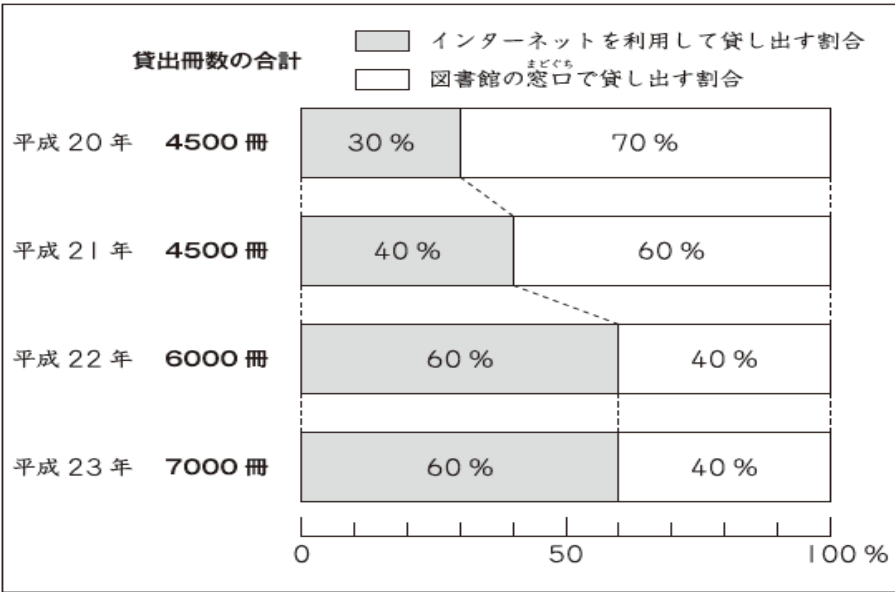
実際にかかった時間()分

4

図書館の人が、最近ではインターネットを利用して本を貸し出す割合が増えていることを教えてくれました。

そして、次の帯グラフを見せてくれました。帯グラフは、平成20年から平成23年までの貸出冊数の合計とインターネットをわりあい利用した割合を表しています。

貸出冊数の合計とインターネットを利用した割合



かずやさんたちは、実際にインターネットの貸出冊数が増えているかどうかを調べます。

インターネットの貸出冊数は、次の式で求められます。

$$\text{貸出冊数の合計} \times \text{インターネットを利用した割合} = \text{インターネットの貸出冊数}$$

この式を使って、かずやさんとたまきさんは、平成20年と平成21年を比べました。



かずやさんの考え

30%と40%を小数で表すと0.3と0.4になります。
 $4500 \times 0.3 = 1350$ なので平成20年は1350冊です。
 $4500 \times 0.4 = 1800$ なので平成21年は1800冊です。
 だから、平成21年のほうが増えています。



たまきさんの考え

30%と40%を小数で表すと0.3と0.4になります。
 4500×0.3 と 4500×0.4 を比べると、もとにする量は同じで、割合は大きくなっています。
 だから、平成21年のほうが増えています。

平成22年と平成23年を比べると、インターネットの貸出冊数は増えていますか。下の**1**から**3**までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、2人の考えのどちらか一方をもとにして、言葉と数や式を使って書きましょう。

- 1 平成22年より平成23年のほうが増えている。
- 2 平成22年より平成23年のほうが減っている。
- 3 平成22年と平成23年は変わらない。

番号	わけ
1	(例) 60%を小数で表すと0.6になります。 6000×0.6 と 7000×0.6 を比べると、割合は同じで、もとにする量は大きくなっています。 だから、平成23年のほうが増えています。